

目 次

日本経済2006 2007公表にあたって

第1章 長期化する景気回復とその先行き	1
第1節 長期間にわたる景気回復と持続性	2
第2節 長期的な景気回復下での2006年の日本経済	4
第3節 回復の動きを続ける企業部門	6
第4節 消費は緩やかに増加してきたが、年後半にかけて横ばいの動き	11
第5節 堅調な住宅投資と低調に推移する公共投資	16
第6節 生産は緩やかな増加を続けるものの情報化関連生産財の在庫は増加	22
第7節 これまで増加基調を続けてきた輸出は横ばいへ	24
コラム1-1 円安が輸出に与える影響	26
第8節 景気の先行きリスクと回復の持続性	27
第2章 企業部門が内包する課題	31
第1節 緩やかな増加が続く生産とその懸念材料	32
第2節 持続可能性を維持しつつ増加する設備投資	37
第3節 景気回復局面で現れた企業規模別収益面の格差	45
第4節 本章のまとめ	53

第3章 鈍化する消費の伸びと家計の所得環境	55
第1節 2006年半ば頃から伸び悩む家計消費	56
第2節 家計所得に対する下押し圧力	62
コラム3 - 1 アメリカの賃金二極化現象	67
コラム3 - 2 団塊の世代の退職と消費	71
第3節 デフレ脱却と家計所得	75
第4章 デフレ脱却に向けて	77
第1節 消費者物価指数（CPI）の基準改定の影響と評価	78
第2節 国内市場の需給状況からみた消費者物価の先行き展望	82
1. 国内市場の需給状況と物価の関係	82
2. デフレ下で目立つサービス物価と賃金との関係の希薄化	88
3. 物価の先行きを展望する上での留意点	92
第3節 持ち直しに転じる地価動向	94
1. 都市圏中心に持ち直しに転じる地価水準	94
2. 収益還元モデルに基づく地価の評価	97
3. 資産価格の変動と金融政策運営	103
第5章 金融市場の正常化と金融政策の動向	105
第1節 量的緩和政策・ゼロ金利政策解除後の金融市場動向	106
1. ゼロ金利解除後上昇した後安定的に推移する長短金利	106
2. 年後半緩やかに上昇した国内株式市場	114
3. ゼロ金利解除後も続く円安傾向	118
コラム5 - 1 円キャリートレード	120
4. 緩やかな景気回復下で続く銀行貸出の増加	122
第2節 経済正常化へ向けた金融政策面での対応に関する議論	128
1. 金融政策の有効性に関する議論の経緯	128
2. 新たな金融政策を採用する各国の取組の整理（1990年代から2000年代初頭）	129

3 . デフレ下での日本の金融政策の考え方の整理	131
4 . デフレ脱却を展望した金融政策の考え方	132
第3節 今後の我が国の金融政策運営にかかわる諸課題	133
1 . 物価安定の指標と消費者物価指数の上方バイアス	133
2 . 適切な形成が望まれる政策金利に対する市場の期待	136
3 . まとめ	137
付図・付表・付注	139
参考文献	145